

素数（その1）

「5」は素数（そすう）

「6」は素数ではない

「7」は素数

「8」は素数ではない

このように数字には素数とそうでないものがあります。

【定義】 素数：ある数に対して、割れる数が1とその数のみの整数

定義として書くと分かりにくいですが、上の例を元に考えていくと

5 → $5 \div 1 = 5$ （割り切れる）
 $5 \div 5 = 1$ （割り切れる）
これ以外の割り切れる整数はなし } だから5は素数

6 → $6 \div 1 = 6$ （割り切れる）
 $6 \div 2 = 3$ （割り切れる）
 $6 \div 3 = 2$ （割り切れる）
 $6 \div 6 = 1$ （割り切れる）
6は「2」でも「3」でも割り切れる } だから6は素数ではない

素数は小さい数だけではありません

2、3、5、7、11、13、17、19、23、29、31、37、41、43、47、59、
61、67、71、73、79、83、89、97

ひとまず100までの素数を書き出しました。多すぎてきりがありませんが、算数の問題を解くうえで50までの素数を覚えていれば困ることはないはずです。

なお、上の書き出した数を見て気づくことがあると思いますが、素数に「2」以外の偶数はありません。なぜなら偶数は「2」で割ることが出来るからです。「2」は最初の偶数で、ゆいいつ素数の定義に当てはまっています。

（注意）「1」は素数に入りません

これは忘れがちなので注意しましょう。